

せんいち町内会報

令和 2 年 2 月

千田町一丁目町内会
(090-8358-6076)

我が町にも防災士！

尾崎尚忠



2月から防災士として町内の自主防災活動のお手伝いをする様になりました。活動は近年の重大災害の教訓から自主防災(共助)の必要を痛感し、設けられた制度です。

災害発生時の対応として

自助～先ず自分の身の安全を確保する。

共助～身の安全を確保出来たら、周りの方達の救助活動を行う。(自主防災)

公助～国、自治体の救助・支援を待つ

とされていますが、過去の災害事例で公助は交通網の遮断、救助員の不足等、緊急時活動への課題が多く残されていて、これを補う様考えられたのが、地域の安全は、地域で守る自主防災制度です。

この活動に必要な事は、多くの方と顔見知りになることです。救助が必要な方が知らない人には助けを求めにくいを教訓にし、これから町内行事に出来る限り参加しようと考えている若葉マークの防災士です。どうぞ宜しくお願いします。



★ この2月に防災士に認証された尾崎さん(アイソワ-理事長・町内会役員)に寄稿いただく。タイトルは編集部

千一・東千一子ども会も大活躍！



中区子ども会冬季大会が、1/26 中区 SC でありました。約 2 か月間毎週土曜、日曜日に練習を頑張ってきました。

千一・東千一子ども会からも、男女合わせて13名の子供たちが参加しています。

★ 結果は!! ユニカール→千田 A チーム準優勝

大縄跳び →千田 A チーム優勝

綱引き →千田 A チーム優勝

そして、千田 A チームが総合優勝しました！

(子ども会お母さんからです)

千田通りふれあいサロン

いつまでも楽しく食事ができるよう、噛むこと、飲み込むこと、今からでも出来ることを学びましょう！

日時 3月18日(水) 14:00~15:30

場所 弘法フォーラム

★ 詳細は別紙案内をご覧ください。



広大の門前町であった当町内会は、半世紀近くにわたり本部跡地問題にかかわり、何度となく行政への働きかけも行ってきました。混迷を深め最終章に一步手前のこの件、年が明けいくつかの動きがありました。

◆松井市長は「新年の抱負」の会見で旧理学部一号館の利活用について次のように述べられた。
「市立大学、広島大学がコアなって県内の平和研究をする機関との参画を得られる施設を造る、あるいは一体的な組織にする。すぐにできなくても連携しながら、その場を使って必要な講座を開設するとか、研究者を招く、あるいは市民講座を開くとか、運用面、組織面、

それにあてがう財源をどうするか、今しっかりと検討している状況です。方向性は一つです。年度内に具体的なところを定めながら、基本計画をとりまとめるスケジュールはまだ維持しています。

◆広島市は被爆75周年記念事業を含む予算案を二月七日発表し、その中に学徒広島市の歴史を象徴する被爆建物「旧理学部一号館」の企画展があります。
一号館の歴史や関連する被爆資料、原爆の絵などを展示し、被爆体験記の朗読会も予定とのことです。
次の時代へ「知の拠点」という夢が繋ぎて行くことを願います。



どうなる「広大旧理学部一号館」!